

観葉植物について

1 観葉植物ブーム

コロナ禍において、室内での癒しを求めて観葉植物を購入する方が増えています。観葉植物は管理が手軽で魅力的なものが多くあります。自宅やオフィスのデスク上に置いてみてはいかがでしょう。

2 人気がある種類

観葉植物には多くの種類があります。その中で、代表的なものはいくつかご紹介いたします。

①ポトス

サトイモ科のツタ性観葉植物で、生育が旺盛かつ管理が容易なため、初めて購入する方におすすめです。伸びた茎を切り取り、水に差しておくだけで簡単に増やすことができます。

②ドラセナ

デスク上に置けるものから、1mを超える大型のものまで、様々な品種があります。大きさだけでなく、葉の色や形も異なります。「幸福の木」もこのドラセナに含まれます。

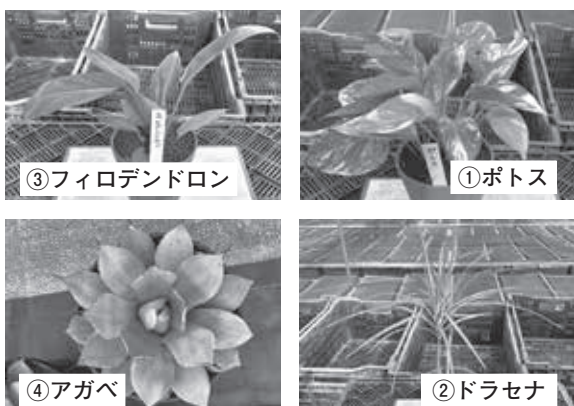
③フィロデンドロン

サトイモの仲間、品種により

様々な色をしたハート型の葉が楽しめます。塊根を持つ観葉植物は、塊根部分を地上に出して植えつけることで気根の発生を誘導し、気根が太くなると、熱帯の植物のような雰囲気になります。

④アガベ

原産地のメキシコではお酒の原料でもあり、サボテンなどと並んで有名な多肉植物の一つです。品種によって葉の形態や色、トゲの強さなどが異なります。

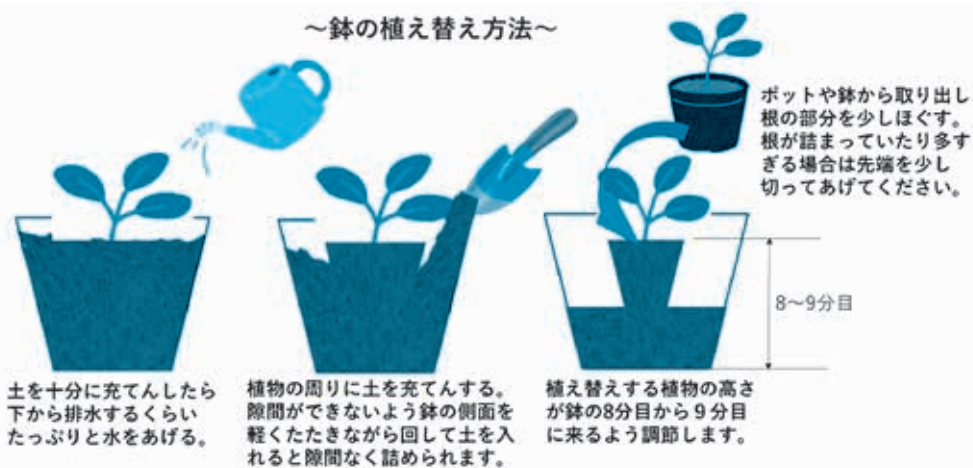


3 管理のポイント

光や水、肥料などの管理に関しては、令和4年9月号でご紹介しましたので、今回は植え替えや挿し木についてご紹介します。

● 植え替え

鉢に対して株が大きくなってきた時に行います。春先などの暖かくなってきた時期から梅雨前に行いましょう。



● 挿し木

ポトスやワイヤープランツなど、生育が旺盛なものはすぐに株が大きくなり、植物が混んでしまいがちです。そんな時は、植物の風通しや受光環境を良くするために、せん定を行います。間引く場合は根元から、短くする場合は節の直上で切ります。また、せん定枝は土や水に挿し、新しい苗を育てることが出来るので、ぜひ挑戦してみてください。



剪定した枝を15～20cm程度に調節し、先端を少し斜めに切り出します。水を数時間程度吸わせた後、発根促進剤（ルートンなど）がある場合は付着させてから挿します。土は園芸用品店に売ってる鉢物用培土がおすすめです。



間引く際は内側の向きが悪いものや受光環境を妨げるものを切り取ります。（写真の矢印部分にはさみを入れる）また、葉先の枯れた部分は切り取ります。